

緑化委員会広報

南側斜面のユキヤナギ補植

ツルハシ使い溝掘り作業

団地南側斜面の枯れたユキヤナギを掘り起こし、新しい苗木に植え替える作業を10月、11月の定例作業日に実施した。

10月の作業でササの根に侵食されて枯れたユキヤナギの根を掘り起こしたり、溝を掘って石灰を散布。そ



植え付け準備の溝掘り作業(10月4日)



新しいユキヤナギを植え付け(11月8日)

今年の生垣せん定作業終了

桜の枝切りなど追加発注

造園業者「風雅園」による今年の生垣せん定作業が予定通り終了した。

8月から9月にかけてタウンハウスの生垣を中心に実施したが、住民の樹木せん定や枝の伐採申し出で、駐車場周辺のサクラやイチヨウの枝などのせん定を追加して実施した。

計画的に毎年実施しているタウンハウスの生垣修復事業では、枯れ死した生垣7本をサザンカに植え替えたり、枯れ死が認められた生

垣部分は今後も随時、サザンカに交換していくことにしている。

今年はお敷地内のサクラに毛虫が異常発生した。2、3号棟前の駐車場では車両に毛虫が落下したり、ふん等で汚染されるなど被害が相次いだ。

このため風雅園に依頼し、サクラの薬剤散布を急ぎ実施する一方、駐車場に覆いかぶさるように伸びたサクラの枝を切り落としたり、

枝切りした樹木はサクラ3本、イチヨウ1本。来年以降はサクラの定期消毒など毛虫対策を検討する必要があるとすだ。

早咲きの河津桜に植え替え

集会所脇のヤマザクラ伐採

集会所脇のヤマザクラ1本が枯れ死したため、代わりに河津桜を植え替えた。

河津桜は毎年3月上旬に満開になる早咲きの淡紅色のサクラ。2月上旬から開花し始め約1カ月近くかけて満開になる。ソメイヨシノのように1週間前後で散るサクラと違って、長期間楽しめるのが特徴。

風雅園に依頼して購入し

た苗木は高さ約3メートル。来年早々にも淡紅色の花を咲かせてくれるものも期待している。

河津桜の発祥地は静岡県・河津町。毎年2月から3月にかけて盛大に桜祭りが開かれる。多くの観光客でにぎわうが、来年の春は伊豆の温泉地に宿泊して河津桜の並木道の散策に出掛けてはいかがでしょうか。

定例作業報告

(8月、11月)

8月22日(土)東、南側斜面のアジサイの花柄摘み取り作業実施。

9月6日(日)定例作業日。理事会草刈りと合同作業。

業。緑化委員会は東、南側の斜面を中心に伸び切った雑草狩り。

10月4日(日)定例作業日。東側斜面のユキヤナギ補植の準備作業。溝を掘って石灰を散布。

10月23日(金)集会所前のプランターに新しい草花を植える準備作業。土を掘り起こし、石灰散布。

10月27日(火)プランター用の草苗を購入、肥料をまいて植え付け。

11月6日(金)東京都から配布されたユキヤナギの苗木50本を鶴牧西公園で受け取り搬入。

11月8日(日)定例作業日。多摩市市民清掃デー。鶴牧西公園から搬入したユキヤナギの苗木を南側斜面に植え付け。



東側斜面の草刈り(9月6日)



住民参加で植木せん定(9月6日)

リコーダ三定期演奏会

練習成果を披露

緑化委員会の仲間
の奥さんたちが
演奏する恒例のリ
コーダコンサート
が多摩市永山の
ベルブホールで開
かれた。出演した
2つのグループが
1部、2部に分か
れて演奏した後、
最後にパツハのブ
ランドンブルグ協奏曲を合
同演奏した。

演奏会は今回で6回目。
2つのグループは練習して
きた成果をリコーダに託
して熱演した。
仲間の奥さんたちのグル
ープは「タマ・リコーダ
コンサート」。7人のメン
バーが指導者とヘンデルの
「水上音楽」など7曲を演
奏。合間に「浜辺の歌」と
「さとうきび畑」の独唱が
あり、透き通った歌声がホ
ール内に響き渡った。



緑化委員会の釣り仲間三
人(田上、永田、会田)が、
三浦半島で雑魚釣りを楽し
んだ。早朝の午前三時半、
真つ暗な夜明け前の団
地を出発。保土ヶ谷バ
イパスから横浜横須賀
道路を会田が田上氏の愛車
を運転して、目的地の三浦
半島三崎港に向かった。
前回決行した熱海釣り行
きでは田上、永田両氏が惨



敗。今回も二の舞になるの
ではないかと、二人が車中
でしきりに心配する。
「絶対に大丈夫。私が必
ず釣らせるから」と励まし、
午前五時すぎ目的地に到着
した。
早速準備に取りかかり、
漁港の船着場で第一投。永



田氏がまずカマスとイワシ
を続けて釣り上げた。田上
氏と私も入れ食い状態で、
次々と雑魚を釣り上げた。
最近では経験したこと
のない豊漁で、釣りの
醍醐味を十二分に味わ
った釣り行きたった。
帰りは運転を永田氏にお
任せし、ビール片手に居眠
りしながら、そう快な気分
で帰路に着いた。(会田)

雑魚釣りに三崎港直行

豊漁で気分そう快

しのばれる巨艦の面影

ミニ戦艦大和見学記

先般、広島県呉市にある
「大和ミュージアム(海軍
歴史資料館)」の戦艦「大
和」のミニチュアを見学す
る機会があった。大和の大
きさは実物の10分の1。全
長は26・3メートル。儀装
された威容な勇姿を見る
と、まさに世界最強の戦艦
が蘇った感がある。
建造計画から技術水準の
高さ、大和のたどった運命、
沖縄特攻へ出撃した乗組員
の遺書、遺品などが展示さ
れているが、歴史の真実と
平和の大切さを知らされる

大変意義あるミュージアム
と痛感した。
平成17年に戦後60周年記
念映画「男たちの大和」が
大々的に公開されたが、撮
影は尾道市にある造船工場
内で行われた。原寸大の全
長190メートルに及ぶ
「戦艦大和」の壮大なロケ
セットが建設されたとい
う。これにより大和がいかに
巨大艦だったかを知るこ
とができる。
呉市は大和を建造した東
洋一の軍港。日本一の海軍
工廠の町として栄え、今で

サケの遡上を追って

秋の北海道ドライブ旅行

秋の北海道を5日間、車
で走り回った。新千歳空港
から道央自動車道を経て富
良野市に入ると、丘陵地帯
に広がるパツチワーク模様
の農場が次々と現れる。
一面に植えられた赤、黄、
白色の花が咲き競い、花じ
ゆうたんの田園風景を醸し
出す。富良野名物の紫色の
ラベンダー畑はすでに開花
期が過ぎていたが、満開時
はさぞかし壮観だろうと思
像した。

サケの遡上を観察するた
め知床半島に入る。斜里川
の河口をのぞくと、大きな
マスが群れをなして遡上し
ている。川面が黒く盛り上
がり、あちこちで魚体が跳
ね上がる。ウトロ近くのオ
ンネベツ川ではマスが浅瀬
をはねながら上っている。
太平洋岸の標津川では、
遡上したサケが捕獲施設に
誘導され一網打尽に捕獲さ
れていた。水揚げされたサ
ケは漁師たちが瞬時に雌雄
を見分けて仕分けする。手
なれた作業に感心した。
阿寒湖畔から糠平湖、幌
鹿峠を越えて然別湖に抜け

サツマイモ盗掘被害

子ども会が集会所
入り口の空き地で栽
培していたサツマイ
モ畑が荒らされ、盗
掘被害に遭った。昨
年も同じ場所ので収穫
前のジャガイモが盗
掘されている。収穫
を楽しみにしてきた
子どもたちも大きなシヨツ
クを受けた。
緑化委員会が集会所前の
プランターに植えたピオー
ラの苗木も3株が引き抜か
れ、持ち去られていた。



た。途中でキタキツネや工
ソシ力を見つけてしばし観
察。5日間の走行距離は1
100キロ。広い北海道を
堪能した。(富田)

も世界有数のタンカーを建
造するなど造船王国の一翼
を担っている。(香村)